

2020.5.29

技術系専門問題演習 【情報】

【H.30 国家総合職 工学 No.40 (情報数学)】

1株当たりの現在価格が等しい株式1と株式2がある。1年後の株式1と株式2の1株当たりの価格が確率変数 P_1 と P_2 で表されるとすると、 P_1 と P_2 の期待値は等しく、 P_1 の標準偏差は P_2 の標準偏差の2倍である。株式1と株式2を合わせて1500株購入するとき、1年後の株式の価格の総額の分散が最小となるような株式の購入数の組合せとして最も妥当なのはどれか。

ただし、 P_1 と P_2 は互いに独立であるとする。

	P_1	P_2
1	0株	1500株
2	250株	1250株
3	300株	1200株
4	375株	1125株
5	500株	1000株

類題情報

H.27 国家総合職 工学 No.9 → 2020.5.11 (公開日 5.12) の公開問題演習講座で動画解説しています。
2019 国家総合職 工学 No.37, H.22 国家I種理工I (現国家総合職 工学) No.9